

事業所プチニュース

吉野学園 [活動の様子]

コロナウイルスの影響ですっかり外出の機会が減りましたが、カラオケやシャボン玉など園内でも楽しめる活動を提供しています。



2022年5月～6月

愛光園 [シャボン玉]



愛光園では、園長が作成した、シャボン玉機で利用者さんと一緒に楽しんでいます。利用者さんも職員も園長の次回の作品を楽しみにしています。 2022年5月

吉田愛青園 [しいたけのコマ打]



毎年恒例となっているしいたけのコマ打ち作業。クヌギにたくさんの菌を打ち込みました。 2022年4月

あおとり [野菜収穫]

4月から5月にかけて植えた野菜が育ちました。キュウリ、ピーマン、ナスなどの夏野菜が収穫出来ています。収穫した野菜は毎日の食材として美味しくいただきました。



2022年7月

ほほえみ [滝]

梅雨が早く終わり、暑い夏がやってきました。早速涼を求めて滝をみんなで見に行ったりミスト遊びなど行いました。虹も見えて楽しいひと時でした。 2022年7月



パピー保育園 [日陰で一休み]



夏の日差しを浴びながら、広場で虫を見つけたり、トンネルでゆったりする子どもたち、水遊びも大喜びでした。

2022年6月



青鳥会Pick up

どんぐりを育てよう



現在青鳥会は、「寺山の森を育てよう」プロジェクトに法人として参加しています。寺山の森は、青鳥会のすぐ近くにあり、森の中には、2015年「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録された炭焼窯があります。しかし、2019年7月の豪雨による土砂崩れで窯跡も崩落するなど大きな被害を受けました。

復興にあたり、町内会長から「自然豊かな吉野の森を再生しよう」と声をかけて頂き、法人として「どんぐりの苗木づくり」に昨年度から取り組んでいます。成長も見られており、世界遺産登録10周年に合わせた植樹イベントに今後も協力し、SDGs活動の一環として取り組んでいきます。



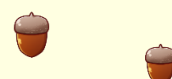
崩落前の炭焼窯跡



5月の様子



8月の様子



つなぐよ未来～心をひとつに～

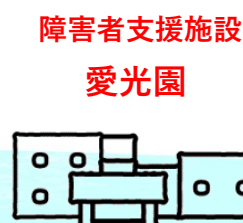
青鳥会だより

2022



※写真掲載の同意を得ています。

障害者支援施設
障害児入所施設
吉野学園



障害者支援施設
吉田愛青園



地域生活支援
事業所
相談支援事業所
ほほえみ



令和3年度事業報告（概要）	
会議・研修	定時評議員会（6月／令和2年度決算承認・理事監事改選 等）
	臨時評議員会（4・10月開催／主に虐待防止委員会の取り組み報告中心）
	理事会（5・6・8・9・12・3月開催／理事長及び業務執行理事の職務報告4回 補正予算・規程改正・令和4年度事業計画及び当初予算 その他）
	監事監査（5／19～21 7事業所を監査）
	評議員選任・解任委員会（6月・評議員定時改選に伴う）
	虐待防止委員会（4・7・10・3月開催／事業所及び法人における4カ月取り組みの報告）
	相談・苦情解決第三者委員会（11月／1年間各事業所で発生した苦情等に対して助言）
	役員等会（毎月2回開催／業務推進を報告・確認）
	施設長会（毎月開催／役員等会報告や事業所間の情報共有）
	新任職員研修（偶数月開催／法人理念や規程、人権擁護について理解を深める）
行事その他	中堅職員研修（奇数月開催／法人理念や規程の再確認、中堅職員の役割を学ぶ）
	介護福祉士資格取得研修（14日間／15名受講14名が資格取得）
	鹿児島市指導監査（3月）
	就職説明会JOBFAIR（5・7月実施）
九州タブチ見学会（8・12・3月／異業種における「働きやすい職場づくり」を学ぶ）	
かごしま思いやりネットワーク事業（生活困窮者支援）実施（計3回）	

令和3年度の障害福祉サービス提供に関する相談・苦情の数・内容等は右記の通りで、苦情内容の多くは利用者支援に関するものです。

相談・苦情については、法人内苦情解決委員会や定期的な報告による第三者委員のご意見・ご助言を賜りながら適切な解決を図りました。



令和3年度相談苦情状況			
	苦情	相談要望	計
吉野学園	8	14	22
愛光園	46	19	65
吉田愛青園	10	3	13
あおとり	9	10	19
ほほえみ	3	4	7
パピー保育園	3	3	6
計	79	53	132

青鳥会の研修

フォローアップ研修

今年度より、新任職員のフォローアップ研修を2か月ごとに開催しています。仕事での悩みや、最近頑張ったことを共有する時間を持ちます。また、先輩方の話を聞き失敗を恐れずに奮い立つ新任職員の姿にたくましさを感じたひと時となりました。



九州タブチ見学

「人を大切にする」組織づくりのため、自主自立の企業風土が根付いた「九州タブチ様」の見学研修を年に4回程職階層別に実施しています。参加した職員は目を輝かせながら「これをしよう、あれをしよう」といろいろなアイデアが生まれ、法人にとっての大きな学びの機会になっています。



令和3年度 決算報告書

令3年4月1日～令和4年3月31日

≪ 資金収支計算書 ≫

（単位:千円）

勘定科目		決算
事業活動による収支	事業活動収入計	1,707,397
	事業活動支出計	1,535,843
	事業活動資金収支差額	171,554
施設整備等による収支	施設整備等収入計	4,127
	施設整備等支出計	54,744
	施設整備等資金収支差額	-50,617
その他の活動による収支	その他の活動収入計	22,065
	その他の活動支出計	191,539
	その他の活動資金収支差額	-169,474
当期資金収支差額合計		-48,537
前期末支払資金残高		888,681
当期末支払資金残高		840,144

≪ 事業活動収支計算書 ≫

（単位:千円）

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	1,687,662
	サービス活動費用計	1,604,322
	サービス活動増減差額	83,341
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	19,735
	サービス活動外費用計	16,472
	サービ 活動外増減差額	3,262
経常増減差額		86,603
特別増減の部	特別収益計	5,374
	特別費用計	11,277
	特別増減差額	-5,903
当期活動増減差額		80,700
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,339,696
	当期末繰越活動増減差額	1,420,396
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	5,989
	その他の積立金積立額	165,989
次期繰越活動増減差額		1,260,396

≪ 貸借対照表 ≫

（単位:千円）

資産の部		負債の部	
流動資産	913,381	流動負債	168,672
固定資産	2,161,970	固定負債	441,724
基本財産	1,457,507	負債の部合計	610,395
その他の固定資産	704,463	純資産の部合計	2,464,956
資産の部合計	3,075,352	負債及び純資産の部合計	3,075,352

令和4年度事業計画 5 重点目標

職員定着の促進	心的身体的に余裕のある職員配置の「ものさし」づくり 離職原因の見直し 人事異動目的の明確化・フォロー 管理職員研修の強化・組織づくり 給与待遇の改善 職員の声を聞く取り組み 子ども参観日
強みを生かした事業展開	支援課長会議の強化・ニーズの把握 他機関との連携強化 支援力を生かしたニーズへの対応 利用者様のライフサイクルに応じたサービス提供 4半期ごとの経営分析・資金面を事業計画の推進状況確認
虐待を起こさない風土づくり	虐待防止委員会の充実 「虐待は組織の問題」と理解し管理者共通の取り組み 「振り返りシートの活用」 身体拘束等適正化の取り組み
危機管理及び将来構想	新型コロナ等災害に対するBCPの策定 「2040年問題」を視野に入れた長期的戦略 次世代リーダーの育成・職階の再検討 職員参画による中長期計画
公益的な活動	寺山植林など地域活動への積極参加 SDG s 活動の取り組みと周知 おもいやりネットワーク事業への活動継続

報告

8月5日に当法人懲戒審査委員会を開催し、当法人就業規則に違反した6名の職員に対し、
8月8,9日就業規則第59条に基づき懲戒処分を行いました。

令和4年8月9日 青鳥会理事長 牧 美輝